

ご主人様の奇禍に際し、心から哀悼の意を表し、謹んでお悔やみ申し上げます。

ご入院加療中のご主人様のご容体が好転したと伺ったのは、つい先週のことでしたのに、なぜこのようになられたのでしょうか。未だに信じられず、呆然とするのみです。

課長に昇進され、二人目のお子さんもおおできになり、これからというときに、あまりに酷い仕打ちと天を恨みます。

あなたの悲しみは、誰にも想像することができず、誰にも慰める言葉がありません。

しかし、お体に障るご悲痛は、天上のご主人様の欲するところではありません。どうかご自愛ください。

不本意ですが、病気の母を抱えるため、お慰めに伺えません。別封些少ですが、ご香典ですので、ご霊前にお供えくださるようお願い申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。

合掌